



新協建設工業

事例：金城邸

設計：Ms建築設計事務所

文：角丸泰子 写真：相原 功

キッチン側からリビング・ダイニングを見る。
写真では見えないが、右手にも小さなリビング
があり、全体が一体の空間。大きな開口部
の先に庭が。木々の緑が目を楽しませる。



住むなら木の家に。
自然なテイストを好む若い夫妻の願いは、
「木造・在来工法」を掲げる工務店と出会って実現した。
やわらかな木の香りの漂う新居で
親子3人、いつもリラックスして過ごす。

空気が澄んでいるから
気持ちも晴れやかです

食卓を囲む父子。アイランド型キッチンが設計者の三澤さんの提案によるが、奥さまのイメージにもびったりだった。使い勝手は上々で、家族と言葉をかわせるのがいい。



右/食事の支度をする奥さまを6歳の長男が手伝う。左/サンルーム側廊下より見たリビング・ダイニング。吹き抜けを介して上階から光が入り、明るく開放感がある。



右/リビング・ダイニング。カジュアルなテイストの家具は木の質感とよく合う。上2点/長男は絵を描いたり工作をしたりするのが好き。調理中、紙でソラマメをつくり、中身を取り出したあとのサヤにていねいに詰める。休日の楽しい時間。



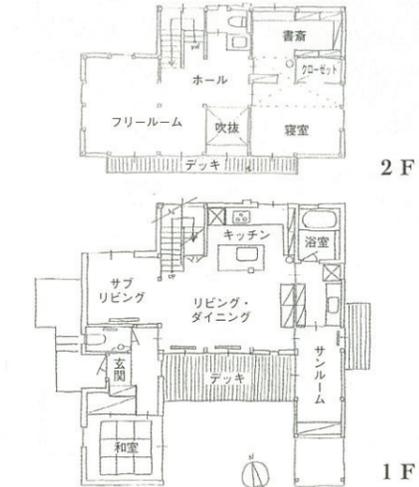
シロウトが口を出すより
プロに任せようがよい

昨年3月、富田林市内の閑静な住宅街に金城さん一家の新居が完成した。その前は奥さまの実家に同居していたが、転勤族のご主人が大阪勤務になったのを機に土地を手に入れ、家づくりに取りかかった。では、夫妻はどんな住まいをイメージしたのか。

「木の家に住みたかったけれど、できるとしても床を無垢材にするぐらいだとハウスメーカーで言われて。あきらめかけていたら、私の父が新協さんの藤田敦夫支店長と面識があるのを思い出して、相談しては」と奥さまが述べ懐する。それが新協建設工業との出会いだった。同社の手がけたお宅を訪ねたところ、木が多く使われているのに加え、家のなかの空気がきれいなことにも強い印象を受けた。こちらにお願いしよう。二人に迷いはなかった。同時に、かねてより建築家集団とのネットワーク構築に取り組み同社のすすめで、M S 建築設計事務所設計を託すことも決定。夫妻のスタイルに合った仕事をしてくれることを確信していたと、同社担当の澤田博さんが話す。打ち合わせの際にリクエストしたことを尋ねたら、ご主人が次のように答えた。「二人とも仕事をもってるから、ホッとできる家というのが第一。シロウトがあれこれ言うより、信頼できるプロにお任せしようというのが僕らの考えなので」ただ、外せないことは伝えた。たとえば、



右/左よりご主人、長男、奥さま、新協建設の澤田さん。「澤田さんと三澤さんと棟梁、三者三様にポリシーを感じた」と夫妻。 中/庭がLDKと道路を隔てる役目を。手前がサンルーム。 左/外観。火山灰・シラスを使ったそとん壁でやわらかな雰囲気に。



2 F

1 F

新協建設工業株式会社 金城邸 Data

所在地：大阪府富田林市
 家族構成：夫婦+子ども1人
 敷地面積：185.03㎡
 延床面積：127.72㎡
 (1階77.04㎡ 2階50.68㎡)
 竣工：2010年3月(工期2009年9月~2010年3月)
 設計：(株)Ms建築設計事務所
 TEL 06-6831-5917
 施工：新協建設工業株式会社 TEL 072-229-2873
 構造形式：木造2階建て
 主な外部仕上げ：屋根/ガルバリウム鋼板 壁/ハセ葺き(厚0.35mm) 軒天井/杉三層パネル

(厚36mm) 外壁/そとん壁(厚20mm)、一部杉本実板(厚15mm)
 主な内部仕上げ：天井/杉三層パネル現し、韓紙張り、サワラ本実板(浴室、洗面脱衣) 壁/杉三層パネル現し、珪藻土塗り、サワラ本実板(浴室、洗面脱衣) 床/オニグルミフローリング(全てFFC免疫加工)
 工費(税込)3797万円(建築2860万円 設備696万円 外構241万円) 別途、設計料(総額の10%)379万円、申請費用(確認~設計評価~長期優良)19万6300円、長期優良住宅関係費用(構造計算、10年瑕疵保険、住宅履歴、適合証明)54万6000円

ここが
いちばん

新協建設工業株式会社

住まいながら健康になる。
そんな家をつくっています

会社情報はP.142

1972年創業。私どもは大阪支店ですが、東京本社ともども、お客さま一人ひとりが「住まいながら健康になる」家づくりを看板に掲げ、住まいを手がけています。

昔ながらの大工の技による施工を行う一方で、家のなかの空気環境を重視し、「抗酸化」や「免疫住宅」に取り組んでいるのも当店の特色。それは、きれいな空気が住まい手の健康と切っても切れないことが実証されているからにほかなりません。事例でご紹介した金城さまのお宅でも、基礎のコンクリートを混ぜるのに抗酸化水を使うなど、これを実践しました。

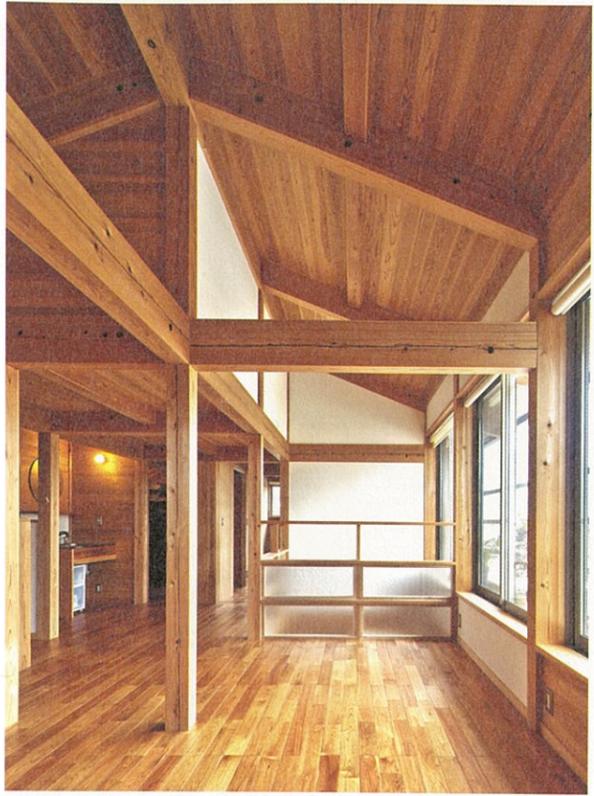
もう一つ、私どもはできるだけ天然乾燥材を使うよう心がけています。以前より大阪府の森林組合を通して地元の山の木を仕入れています。今回はご縁があり、吉野の杉と檜を使いました。吉野杉は江戸の昔から酒樽用の材として珍重されたもので、年輪が詰まっており色目も香りも申し分のないブランド木材ですが、建材としてもすぐれていることを実感。金城さん一家が吉野の製材所にも同行され、この材が我が家に……と喜んでくださったこともよい思い出です。

さて、当店では地域の方々との交流にも力を入れています。特に木との触れ合いを大事にしたいという思いから、毎年、堺市や松原市など近隣の小学校で行われる「子どもまつり」では木工工場を恒例で行っています。今年も大勢の子どもたちがノコギリを手に丸太切りに挑戦！ 太い丸太を10分以上かかってなんとか伐り終えた子もいて、楽しい時間をともに過ごしました。

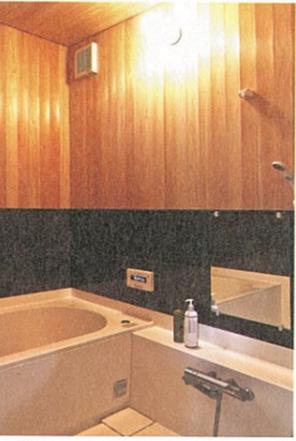
木の香る家、澄んだ空気の家に住らしたいとお考えの方は、ぜひご連絡ください。きっとお役に立てると自負しています。



左/大阪支店のスタッフ一同。 右/高石市内の小学校での子どもまつり。子どもたちが堅い檜材を相手に奮闘。(写真2点提供/新協建設工業)



右上から時計回りに/和室。玄関に近く客室としても使う。/洗濯物を干すのに重宝なサンルーム。/浴室はゆっくり入浴でき、疲れがとれるとご主人。/広々とした2階フリールーム。1階と比べて木の見える割合が多い。



シンプルな家具はどれも木の住まいと相性がいい

1階は大きなLDKが中心にあり、デッキを挟んで庭に面している。庭の真ん中ですくすくと育つのはヤマボウシ。やがて葉が茂ったら、道路からの目隠しになってくれるはずだ。さらに、この庭を囲むようなかたちで和室とサンルームが突き出ているが、後者は洗濯物を干す部屋も兼ねる。

一方、2階は主寝室と書斎、フリールームからなる。本が多いため、書斎は欠かせなかった。6歳の長男を寝かしつけながら仕事の続きをしたいので寝室とつなげてもらったが、正解だったと奥さま。フリー

日中は留守にするので室内に洗濯物を干す空間がほしい、浴室は大きめに、などなど。Msの三澤康彦さんはそれらを念頭に置いて模型を制作。これが決め手になった。「模型を見ると、ここで食事して、あそこでくつろいで……と家での生活がリアルに思い描けて、納得できました」(奥さま)

もう一つ、忘れてはならないのがパッシブソーラーシステム「そよ風」を設置したこと。というのも、新協の住宅を見学して、空気の循環が非常に大事だと実感されたからである。ちなみに、「そよ風」とは太陽熱や放射冷却など自然の力を最大限に取り入れた仕組み。室内がなんともいえず心地よいのはこれが効いているからに違いないと、二人は頷き合った。

「前は週末に夫婦でよくカフェに出かけてたけど、家でコーヒーを飲むようになったかな。外に行く必要がない感じ(笑)」

庭の植栽を眺めながらのコーヒータイムはどよよもくつろげる。相変わらず仕事は忙しいが、単身赴任していた頃と違い、家族のいる家に戻ると気持ちがいやいやとご主人の言葉に力がこもった。奥さまは、木の家の思いが深まったようと微笑む。

「先日、新協さんの方が1年ぶりに点検に来られて、木の色が違ってきたといわはったんです。毎日見てたら気がつかないけど、これからどんなふうに変化していくのか楽しみです。皆さんの力でいい家ができて、感謝しないとねって話しています」

1mは仕切って子供室にしてもいい。材については、吉野の杉と檜を構造材に使った。天然乾燥の材ゆえ、入居後しばらく木の割れるパーンという音が響いたが、生きた木の証だと思つてうれしかったとご主人が笑う。床の仕上げ材はオニグルミ。壁は珪藻土、場所によって杉三層パネルを現しにしている。これはMsでよく用いるもので、施工に時間がかかる半面、構造が強固になるのが最大の利点という。

また、夫妻はインテリアにも関心が深い。ダイニングテーブルやソファなどの家具類は、お気に入りのショップでじっくり吟味して求めたものばかり。シンプルなデザインが木の家によく似合う。

この家に入居して1年余り。親子3人の暮らしもすっかり落ち着いてきた。